

国際科学史技術史・科学基礎論連合 IUHPST

/科学基礎論部門DLMPST/

International Union of History and Philosophy of Science and
Technology / Division of Logic ,
Methodology and Philosophy of Science and Technology

IUHPST...科学・技術の発展史や哲学・論理・方法、
社会との関係を研究する国際組織。
DHSTとDLMPSTで構成

➡ DLMPST...科学・技術の哲学的問題・論理・科学方法論
科学と人間関係の研究

加盟国：正規38ヶ国、準1ヶ国、会員候補1
傘下団体：12国際学術機関、DHSTとの共同コミッション4組織、
DLMPSTコミッション2組織

DLMPST (科学基礎論)

科学基礎論とは

論理、方法論、科学・技術哲学 (Logic, Methodology and Philosophy of Science and Technology)

1 論理学、科学・技術全体と諸個別分野の基礎論

(基礎概念、基礎的・哲学的諸問題の明確化)

例：数学の基礎の論理研究から → 計算論・コンピュータの理論
モデルが誕生 → 現代のデジタル情報社会発展に理論的に貢献
→ デジタル環境の社会的諸問題研究 **ユネスコが世界論理デー制定**

2 科学方法論、科学知識の捉え方の研究

3 科学・技術と社会との関わり

(倫理的問題、政策論を含む)

科学基礎論の特徴

- 科学・技術の側面と哲学・人文社会諸科学の側面とを横断する研究領域である。
- 個別科学や社会と関わりながら成果を生み出している。

IUHPST/ DLMPSTの目的と国際組織

国際哲学・人文科学会議

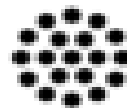


CIPSH



1956 IUHPS
2015 IUHPST
(名称変更)

国際学術会議 ISC



International
Science Council

日本
学術会議

科学基礎論部門



DLMPSTの目的

- 1 対象領域の研究促進
- 2 研究者間の交流支援
- 3 国際会議・学術行事開催、資料収集
- 4 DHSTとの連携、UNESCO上位組織との連携、メンバー国際団体との連携

1949 国際科学哲学連盟
1956 DLMPST 設立
2015 DLMPST (名称変更)

38カ国、準1国

12国際団体

IUHPSTの目的

- 1 科学基礎論部門DLMPSTと科学史技術史部門DHSTとの連携強化と、両部門を代表してISCと連携
- 2 研究発展のための諸々の処置、資料収集
- 3 科学諸分野の連携、個別分野のディシプリンでの諸問題、方法にもとづいての交流

DHST科学史 技術史部門

1929 国際科学史会議
1947 IUHS
1956 DHS 設立
2013 DHST (変更)

42ヶ国、準4ヶ国

6国際団体

DLMPSTの事業と日本への影響

DLMPST最近の学術的成果

4年毎の国際的規模での学術集会・シンポ

- ・2019プラハ第16回大会でのテーマ。シンポ
- ・2015ヘルシンキ大会でのテーマ
ヘルシンキ宣言

個別学術研究の進展

持続的発展のための基礎科学年の取組

日本への影響

DLMPSTの2021年主要国際シンポジウムが日本で開催

- ・2019年プラハ大会シンポジウムテーマをもとに日本側で2021年欧文誌「統計学の哲学」特別号の発刊
- 同大会若手発表者がコメントを得て学位論文完成例
- 個別課題研究交流の進展
- IUHPSTとして学術会議で基礎科学年の取り組み

DLMPST最近の社会的取組

ユネスコ「世界論理デー



World Logic Day設定UNESCO会議に提案し採択
(CIPSHと共同提案 / DLMPST側でCoordinating)
デジタル情報環境の公平性・公正性・透明性
DLMPST日本会議(2021)

共同研究の進展

日本でも積極的に論理デー参加
行事を企画・推進、広報も協力
2021年UNESCO世界論理デー日本DLMPST系グループ企画：不一致の克服に向けた「不一致の論理とリーズニング」日仏会議

CIPSHとの共同

国際的共同研究

「科学・技術と人文科学」

CIPSH東京
会議2022年

日本学会連合・日本の研究者のDLMPSTへの貢献

組織運営への人的貢献

- 2008～2011 内井惣七（京都大学教授）：DLMPST第一副会長
- 2012～2015 八杉満利子（京都産業大学教授）：DLMPSTアセッサー
- 2016～2019 岡田光弘（慶應義塾大学教授）：DLMPSTアセッサー
- 2019～2021 岡田光弘（慶應義塾大学名誉教授）：DLMPSTシンポジウム共同責任者

学術的貢献

DLMPSTとの連携によるCIPSH東京会議 2022年
「科学・技術と人文科学」などのテーマ：日本のDLMPST
がコーディネータを務める

- DLMPSTとCIPSHの提案によりUNESCOで採択された世界論理デーの活動
に日本が積極的に参加

4年に1回開催の国際科学基礎論(論理・方法論・科学技術哲学) 会議Congress of LMPSTに参加・研究発表・シンポジウム開催・シンポジウムをもとにした欧文誌特別号編纂(統計学の哲学:松王 政浩編集)次期総会・会議の日本招致準備(前回プラハ会議ではDLMPST会長から、日本からの招致提案への期待が表明された。)